

# 概要版 - 住民説明会 (白糠町 - 2003年秋)

白糠町 回数 12回 参加者 358名

H15/9/29 14:00	北進集会所	参加者：13名	H15/9/29 18:30	社会福祉センター	参加者：23名
H15/9/30 14:00	茶路老人寿の家	参加者：8名	H15/9/30 18:30	やまびこ会館	参加者：42名
H15/10/1 14:00	和天別パーカセント	参加者：20名	H15/10/1 18:30	日の出集会所	参加者：49名
H15/10/2 14:00	中庶路集会所	参加者：17名	H15/10/2 18:30	橋北中央集会所	参加者：32名
H15/10/6 18:30	西庶路コミュニティセンター	参加者：69名	H15/10/7 18:30	庶路支所付属集会所	参加者：15名
H15/10/8 18:30	白糠生活館	参加者：20名	H15/10/10 18:30	庶路町民センター	参加者：50名

主な質問・意見	主な説明内容
<u>新市建設計画にすること</u>	
質疑 合併前のビジョンが合併後にどう生きされるのか。	町長 各市町村が持つ総合計画は地域ごとの振興計画として、それを踏まえて新市の総合計画を作ることになる。
質疑 地域振興を図っていくためにどのような方策を考えているのか。	町長 現役場庁舎の位置に総合行政センターを設け、そこに予算権などを持たせ、地域の声が反映される仕組みにしていきたいと考えている。
質疑 12ページの新市建設の10のプロジェクトについて予算配分は決まっているのか。	事務局 新市のプロジェクトについては、主要事業等、新市で何を主に取り組むのか示したところであるが、予算措置はしていない。新市になって具体的に決めていくことになる。
質疑 概要版の12ページの新市建設計画のプロジェクトに「看護大学の設置」があるが、高齢化社会では当然必要になってくるし、看護師の養成については地元で養成しなければならないと考える。また、市立釧路総合病院の名前だけがあるが、白糠町の診療所、各病院はどのようになるのか。	事務局 地域医療プロジェクトは、市立病院を核として各町村にある診療所、町立病院をそのまま存続させる。合併すると広いため、情報化の充実などを図り、地域医療の基幹として各病院を繋いで、例えば市立病院とハイビジョンカメラで結び、白糠町の診療所にいながら、市立病院で診察ができるといったことを考えている。そういう医療体制を地域で作っていくことを考えているため、プロジェクトとして掲げている。
質疑 財政計画では平成19年度までは赤字で平成20年度からは急に黒字になる計画であるが、この計画はどのように作成し、もし黒字とならなかった場合はどうするのか。	事務局 例えば現在6市町村で同じような仕事をしても、住民に直接関わりの少ない総務系等の職員は統合が可能であり、概要版の16~17ページにある合併の効果により平成20年度から黒字となる推計である。

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

## 概要版 - 住民説明会（白糠町 - 2003年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
<b>質疑</b> 概要版の36ページので財政的なメリットが示されているがデメリットは示さないのか。 基本理念の説明があったが、合併後この白糠町がどのようなまちになるのか。	<b>事務局</b> 地域振興の面から見ると白糠町ではデメリットがあるかもしれないが、財政的な面から全体を見るとデメリットはない。 各市町村の総合計画を新市の振興計画として考えているが、白糠町の将来の姿がどのようになるか具体的に出来ていない状況である。新市の施策では第1次産業の基盤強化などを新市の施策の柱の1つと考えている。
<b>質疑</b> 合併特例債事業のうち3割は市町村の負担であり、また全国で合併が進み特例債の事業が増えしていくと通常の交付税が減らされるのではないか。	<b>町長</b> この協議会では特例債があるからといって余分な事業を行う考えはない。 国の予算枠は決まっているので、合併したところを優先し、合併しなかったところは残ったパイを配分すると言っている。
<b>質疑</b> 合併後16年後以降の財政の目処が立たないということだが、膨大な資料を一生懸命作って、財政的には10年くらいの見通しか立てられないのか。	<b>事務局</b> 6市町村の長期財政計画については10年間ということで、平成17年度から26年度まで作った。概要版15ページにグラフで参考資料ということで、17年後以降について示している。合併後10年目の平成26年度の普通交付税の額については、6市町村の合併算定替えという特例を受けると、260億円くらいの交付税となる。これが5年間かけて段階的に引き下げられていき、5年後の平成32年では、181億円の数字に收まり、差引きすると約80億円減るという推計である。
<b>質疑</b> 交付税が削減されて非常に厳しいということで合併すれば交付税は減らないということだが、合併後15、16年が経つと合併しても多く減らされるのではないかと思うが、どのような財政を考えているのか、またどのくらい減るを考えているのか。	<b>町</b> 合併後15年以降の推計は今の段階では非常に難しい。推計してできないことはないが、それが確実かと言うと、これはなかなか厳しいものがある。
<b>質疑</b> 合併して一本算定になった時、普通交付税は合併した時と比べて削減額はどのくらいになるのか。	<b>事務局</b> 普通交付税は合併して10年間は現状保障され、その後5年間で激変緩和措置として90%、70%、50%、30%、10%と段階的に削減され、最終的に合併後15年目では約80億円程度は減ると思う。
<b>質疑</b> 交付税ばかりでなく色々な要素を考えると、15年後はこの財政計画に示されている黒字額よりもっと減るのでないか。	<b>事務局</b> 概要版の16ページの合併の効果で説明した通り、交付税が削減される分他の行政経費等で圧縮される。

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

## 概要版 - 住民説明会（白糠町 - 2003年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
質疑 地方交付税には特例債の償還分は入っているのか。	事務局 概要版の17ページの合併支援策の合併特例債で建設事業分458.3億円、基金造成本で38億円を活用することができる。これは対象事業費の充当率95%、元利償還金の70%が普通交付税で措置されるということを推計では見ている。なお、建設事業分458.3億円については、45.8億円づつ10年間見ており、これは地域振興策に充てることとしている。
質疑 各市町村の財産は、合併時にどのようになるのか。	町長 1つの市になったら、1つの自治体の財産となる。例えば鶴居村は釧路市に40億円相当の土地を持っているが、これを持ち込むことになっている。財産については基金などもあるが逆に借金もある。これらを6市町村が全部持ち寄り1つにする。
質疑 各市町村の公債費残高はいくらか。	事務局 前に配ったダイジェスト版に負債額も載っているが、例えば釧路市の借金が平成13年度末で1,027億円、釧路町が110億円、阿寒町が83億円、鶴居村が43億5千万円、白糠町が110億円、音別町が57億3千万円となっている。
質疑 財政計画の歳入歳出の平成17～19年に繰入金があるが、貯金の残高はどのくらいなのか。歳出で積立金となっているが、平成17年～19年とそれぞれ同じ金額が並んでいて、20年からは黒字になるから黒字の部分を積み立てたことは分かるが、17年から19年の積立金はどのようにしたのか。	事務局 6市町村がそれぞれ基金をもっており、前回お配りしたダイジェスト版に載せてあるが、13年度末現在で釧路市46億円、釧路町13億円、阿寒町4億円、鶴居村60億円、白糠町20億円、音別町17億円ということで、全体で160億円位の貯金があるが、合併協議ではこれらすべてを持ち寄ることとした。それぞのまちで、使いたい目的を持って基金を持っているが、6つの財源を新市の財源に充てていきたいということになっている。 財政計画の中で17年、18年、19年と1,333百万円ずつ積み立てているが、合併することにより40億円の基金を造ることができ、それをもって地域振興に取り組むこととなっている。
質疑 財政計画の中には合併して実施するものと今まで継続的に実施してきたが、何らかの理由により出来なかった事業等が入っているのではないか。	事務局 10年間の財政計画をたてる上で、何年に何をやるということは決めていない。その年に実施できる可能額を示したところである。新しいまちになって実施する事業と従来からの事業を継続して行うもの、隣の町にあって自分の町にない必要な事業を組み込んでいる。
質疑 合併するとこうなるというのではなく、将来こうなりたいといつ	事務局 町長がよく言っているが、今、求められているのは職員も住民も意識改革の時だということ。こうし

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

## 概要版 - 住民説明会（白糠町 - 2003年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
<p>た理想像を言っていると思う。だからこれはダメだというものは1つも書かれていません。しかし、赤字だらけの市町村が一緒になるのだから、我々としては合併するときも相当の決意をもって望まなければならない。こうなるのは理想だけれど、合併した途端にバラ色にはならないという固い決意をもってやらなければならぬと思う。これは将来の理想像であって、できればそうなってほしいと思う。</p> <p><b>質疑</b> 釧路市役所、音別町役場は老朽化している。これは合併特例債の中で、施設の建替えなどの予算は入っているのか。</p>	<p>た厳しい地方の中にあって自分たちが自立するには意識改革が求められていると強く認識したいと思う。</p> <p><b>事務局</b> 庁舎の問題は新市建設計画では、11ページの基本目標7の4番に「庁舎等の整備」ということで記載されている。この新市建設計画は、6市町村がもっている総合計画を基本として作っている。音別町の庁舎がかなり古くなっている関係上、音別町では庁舎の整備を総合計画に入れているため、建設計画に入っているが、釧路市の庁舎については入っていない。ただし行財政小委員会の中で、市役所もかなり古くなっているので、計画の中に入れることも考えるべきではないかといった意見もあったところである。</p>
<p><b>質疑</b> 先程からの説明で合併してもしなくても財政的には大変だと思ったが、役場が総合行政センターとなれば役場に決定権はないよう思う。そうすると10年後に50億円位の積み立てができる計画なので、そのお金を白糠町民が話し合って色々な使い方が決定できるという決定権をもって生きていくことが必要ではないか。しかし、日本一大きなまちになったら何千億円の予算のうちどれだけのものが白糠町のために使われるのか疑問がある。</p> <p><b>質疑</b> 今回の長期財政計画は合併しないで自立するためのシミュレーションなのか。 白糠町長期財政計画（平成16～25年度）の地方交付税には臨時財政対策債を含んで推計しているのか。</p>	<p><b>町長</b> 地域というのは何かというとそこで生まれてそこで亡くなる、このサイクルが完結できる地域が本当の地域だと言われている。今回災害があってつくづくそうだなと思ったが、実際我々は普段から行政で一番大切なのは町民の生命と財産を守ることと常々言っている。災害がおきない時の対策というのも必要だが、この世には天災というのがあり、いざという時にいかに対応できるかが大切なことである。そうなると広いよりはある程度のエリアの方が良いということになる。そういう中で6つか論議をしてきているところである。</p> <p><b>町</b> 今回の長期財政計画は現計画のある事業を厳選し10年間の推計をしたもので、単独で自立する場合には赤字を解消するため歳入の各種料金等を上げ、歳出を削減していかなければならない。 平成16～25年度の普通交付税として臨時財政対策債分を算入している。</p>

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

## 概要版 - 住民説明会（白糠町 - 2003年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
<b>質疑</b> 料金の増額（歳入）や歳出の削減を含めた財政計画を作成しないのか。	<b>町</b> 現時点では個々の増額や削減を加えると分かりにくくなる。もし、合併協議が不成立となり自立することが決まった場合には、個々具体的に詰めていかなければならない。 <b>町長</b> 自立する場合には歳入（負担）を増やし歳出を削減するしかないが、毎年8億円程度の赤字を埋めるのは非常に厳しい計画である。
<b>質疑</b> 合併で財政の問題は大きなものであるが、白糠町として自立できるものをどう検討したのか。もっと削減できるものがあるのではないか。釧路市から見ると白糠町から見るとでは違うと思うし、吸収されるというイメージがあり、白糠町の1人として自立できる道はないか徹底的に話し合ってもらいたい。私たち住民にこういう面では我慢して欲しいといったことがあれば我慢するので、そういうところを具体的に説明していただきたい。それでダメであれば町民としてまた考えなければならない。	<b>町長</b> 以前の説明会でも申し上げているが、私を含め皆さんも合併しなくて良いのであれば、合併をしたくない考えはみんな同じ考え方だと思う。なぜ今合併の協議をしなければならないのかというと、白糠町ばかりではないが、国からの地方交付税が減額されている状況になっているからである。今回の説明会は合併ありきの説明会にはしたくないと思っている。色々な見方で内部でも協議してこのような削る項目があるといったことを示している。しかし今回は6つの市町村で論議をさせていただいた内容を説明するということなのでご理解願いたいと思う。一方、今まで100万円で生活していたものが、もう100万円では生活できないということを認識しなければならない。この生活のレベルの低下をどこで留めるのかということを、今我々は求められている。例えば合併をするとここで治まる、あるいは負担は上がるけどコミュニティは残るとか、合併をしなければコミュニティとか人間関係は残るけど負担は増えるとか、何を選択するのかという判断を今我々には求められている。
<b>質疑</b> 「豊かな自然の恵み、産業が融合した『日本一広い』東北海道の拠点都市」という言葉を使っているが、逆に言うとこれが住民のサービス低下になる1つの要因ではないかと考える。そういう点も踏まえた中で、皆さんは色々とご協議いただいていると思うが、さらにこれからもそういう点もお考えいただきながら、これからの協議の素材の1つとして検討していただきたい。	<b>町長</b> 説明した10年間のシミュレーションで、平成18年から7億円から8億円足りない。これは今、わが町ばかりでなく、どこの市町村もこういう状況におかれています、厳しいシミュレーションを立てなければならぬ状況に追い込まれている。今までの景気の良い時代にも、国、道、市町村は財政の仕組みなどについて説明してくるべきだったと私は思っているが、それがなかった。町民の皆さんにとってどういう方向に行けば、良い方向なのかを考えた場合、1つの選択肢が合併である。我々とすれば、やはり町民の皆さんのが困らないように、今お話をあったようにこれからも情報を速やかに出し、誤りのない方向へ行くよう努力したいと思っているので、今後とも意見も含めてよろしくお願ひしたいと思う。
<b>質疑</b> 今合併するかしないかということではなく、白糠町の財政の状況というものを理解して欲しいということを前提とすると、歳入の面で新しい税収入について考えたことはあるのか。例えばパークゴル	<b>町長</b> 今回の合併の論議は意識改革をしなければならないと言うこと。今までどおりいかないということである。そのことを全国民が理解することが大事だが、何が今までどおりに行かないかと言うことが分かっていない。国では交付税の原資となるお金がない。なぜかと言うと国の市町村の合併を進めている総

## 概要版 - 住民説明会（白糠町 - 2003年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
漁船や遊漁船などから目的税のようなものは徴収できないのか。	務省の方が来て講演したときに、白糠町の議員がこういう質問をした。「なぜ合併をしなければならないか」と言う原点に立ち戻ると、結局はお金がないからだと言う話になるが、お金だけの説明でよいのか。」と言う質問に対し、「市役所を強くしたいと言うことと、少子高齢化の中で白糠町が2030年くらいのときにどれだけ人口があって、どういう人口構成になっていてそこで持続可能なサービスをどう提供するか」という議論の中で、合併の議論をして欲しい。」と言った。また合併をしなくても良いが将来自分の町がどうなっていくかといった実態を認識して議論をして欲しいと言った。また「全国どこに行っても一定の行政サービスを提供するのが国の努めだと思っている。」というようなことも言っている。その時にある程度のまとまりを作つておいてもらった方が良いと思うのが1点、今、人口1万人未満の市町村の体制を見るとその市町村の税収、役場職員の人事費を捻出できないところが大半である。白糠町は税収が約11億円であるので、20億円を超える人件費が出せない。そしてもっといって「人口3,000人未満のところでは町長や町議会議員の報酬、助役、収入役の報酬が出せないところが大半である。私はこれから自治の姿が自己決定・自己責任を主張していくとすれば役場職員のコストまでは自分たちで出していくことが必要だと思う。」と言っている。サービスを提供していく時、コストが小さい所は大変だから、国からの財源移譲が必要だと言う説明は出来ると思っている。何を言っているのかと言うと、多い人口でまかなっている所から見ると多い人口のところで集めた税金でどうして小さい規模の町村の面倒を見なければならないのかと言うことである。今、「三位一体」の改革が叫ばれているが、まだ結論が出ていない。結論が出ていない中で合併せざるを得ない状況に追い込まれている。そういう意味では色々な気持ちがあるが、背に腹は変えられない国の状況である。一説によると借金は700兆円ではなくて1,000兆円を超えてるとも言う。700兆円としても国民1人当たり570万円。返すと言う人は誰1人いないと思う。でもこれは国民が払わなければならない。そうなると今の人も大事だが将来の子孫の代に何をしておくかということが、非常に大事になってくる。自己決定・自己責任のこれから自治体だから、若い人たちには選ぶ権利が出てくる。高齢者にとっては住みやすいかも知れないが、若い人たちにとって果たしてそれが将来に向けて夢があるのかというと別問題かもしれない。そのバランスを考えながら今の過渡期を乗り切つていかなければならないことをご理解願いたいと思う。
質疑 合併しなかった場合、17年度以降、地方交付税はもっと減るのか。	町 国の財政も大変なので今三位一体で交付税も減らし、補助金も減らし、税源委譲をすると言っているが、この部分がまだ全然結論が出てきてない。平成17年3月までに合併したところについては、10年間、交付税の額は保障し、その後5年間、段階的に減らして本来の額になる。国が言っているのは、全体のパイの中で、合併した所には優先的に支援していくと言っている。

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

## 概要版 - 住民説明会（白糠町 - 2003年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
<b>質疑</b> 合併しなかった場合には、18年以降は大変だという話か。	<b>町</b> もっと交付税が減ることも考えられるが、これは今の段階での推計である。
<b>質疑</b> この資料を見ると今まで行政がやっていることをそのままの状態で羅列している。収入の面では人口が減になるからこれしか収入がなく、交付税が少なくなったらこうなるといった羅列である。町としていかに人口を増やし、どう収入を上げるかそういう対策が1つもない。釧路市も同じ。この辺を見ると国が交付税を少なくするからどうしてもこうしなければならない案だと思う。これに反対というと交付税がもらえなくなる。そうするとこれにどうしても賛成しなさいということになり、住民が今までの恩恵を受けるには多少犠牲になんでも賛成しなさいという案ではないかと思う。	<b>町長</b> 非常に大切な質問だと思う。実は、我々の自治体も他の自治体もそうだが、こういう論議がある。なぜ合併をしなければならないかという原点に立ち返ると結局はお金がないからだという話になるが、合併に対する原因の説明をする場合に明確な答えが出せないし説明が出来ない。何故今おっしゃられるように現実に我々がお金のことを言わざるを得ないかということについて、各会場でお話しているが、今日は皆さんのが合併について賛成か反対かそういうことを聞く考へはない。非常に大事なことは、今、日本国民全体が実は意識改革しなければならない時期にきていているということである。簡単に言うと今までどおりには行かないということ。ではなぜ今までどおりに行かないかということを、この機会に共通認識を持たなければ、これからの中まちづくりを考えていくことができない。今後は地域づくり、まちづくりの中で第1次産業を見直した産業づくりを行政と一体となって頑張っていき、税収と雇用が増えるよう頑張っていきたい。
<b>質疑</b> 農業委員会の人数は現行80人が15人となっている。これでは対応できないと思う。	<b>事務局</b> 農業委員会の委員数については、まだ協議会では決まっていない。現在各市町村に6つの農業委員会があるが、新市になっても2つ、3つの農業委員会を置くことができる。概要版では現在の釧路市の定員を例として掲げてあり、今後の協議の中で方向が出される。
<b>意見</b> 町の財政計画の説明を聞くと非常に厳しい内容となっている。自分では合併することが良いのか悪いのか判断できない。専門の人たちが検討・判断して住民を導いてほしい。ただし、良いことばかりではなく、悪いことも全部出してその中で良い方向に向かうしかないとと思う。	
<u><b>住民サービスや負担に関するこ</b></u> <b>質疑</b> 137の先行調整項目についてお聞きするが、他の事例では合併して2、3年後で料金などが値上げになってしまうところが多いが、	<b>町長</b> 他の調整項目で肝心なところも残っているが、基本的なことは合併前に約束事にしなければ、合併してから協議するということにはならない。首長の間では約束事は事前にきちっと果たされるような協定

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

## 概要版 - 住民説明会（白糠町 - 2003年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
<p>この担保はどうするのか。</p> <p><b>質疑</b> 今後5年、10年刻みで町民に対してどれだけのメリットがあるか。</p> <p><b>質疑</b> 概要版の36ページの「役場を総合行政センターと位置付ける」とあるが、役場がなくなると関連のあった商店や建設業者などにも影響があるのではないか。今回のような災害時の対応や各種住民サービスが同じようにできるのか。</p> <p><b>質疑</b> この合併は自治体のリストラであり、住民に関わりのある職員（保健師など）が削減されると住民サービスの低下が心配される。商店の方の中には合併に反対な方がいるが、委員会等では地域のことについてどの様に話し合われたのか。</p> <p><b>質疑</b> 図書館の関係で、釧路市が本館で白糠町が分館となった場合、新刊図書が3年も経ってから入ってくるのではないか。全部が全部とは言わないがどこにいても早く見たいのが見る人の立場だ。</p>	<p>にしなければならないと思っているので、もし合併に至るということになった場合は、各首長、各議会としての責任だと思っているのできちんとやらなければならないと思っている。</p> <p><b>町長</b> もし合併をしたならばこれから先、5年間、10年間どういうメリットがあるのかということだが、メリットはないと思っている。なぜかと言うと6つが合併するとどうなるのかということを説明した。各市町村のサービスが上がったり下がったりする。従って今以上に良くなるということにはならないと思っている。基本的な考えだが、合併をしないで行ったならば厳しい状況になる。もしそういう中で頑張っていけるなら合併しない方が良いと思う。やっていけないとするとどういう部分で住民の皆さんか理解していただけるか、平たく言えば仮定の話だが、今例えれば10万円で生活しているとし、これが国の支援が減らされて10万円で生活できないとする。国の三位一体の改革の内容がはっきりとは示されていないから、これがどこまで続くかわからない。これが6万円なり5万円になったとすると、そういう中で合併を1つの選択肢として考えるならば、9万円でおさまるのか、8万円でおさまるのか、いずれにしても合併しようがしまいが10万円で同じ生活ができないと言うことを我々国民は前提として理解しなければならないと思う。</p> <p><b>事務局</b> 住民サービスや安全に関する部分は守っていきたいと考えている。契約の関係では「地域振興」と「競争」の2つの考え方があり難しい問題であるが、今後の課題として検討していきたいと思う。</p> <p><b>事務局</b> 全国的に出生率が低下し人口減が問題になってきており、その中で住民サービスへの対応など、合併も含めた地域振興を検討することが大事なこととなっている。</p> <p><b>町長</b> 私も同じ考え方である。1つの市になるともう僻地も何もなく、どこから通ってもいいということになる。ただ、今政府でどういうふうになるか分からないが、文部科学省が所管する補助金を移譲するとかしないとかやっているが、そういうことも含めて地域には大きく影響してくる。</p>
(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。	8
	白糠町開催分

# 概要版 - 住民説明会（白糠町 - 2003年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
<p>また、教育の関係で、学校の先生がサラリーマン化し、釧路市からの通勤で地域とのコミュニケーションがない。地域の実態を把握するためには白糠町に住んでもらわなければと思うがなかなか難しい。</p> <p><b>質疑</b> 合併によるメリット・デメリットとして、国保について低所得の人は下がり、その他は上がるという。町の説明でも財政計画の財源対策で歳入を増加する方法として固定資産税を上げなければならぬとあった。合併すると固定資産税はさらに上がるのか。</p> <p><b>質疑</b> 基本目標が1から7項目まであり誠に立派だが、金額的な面で住民票などは現行より安くなりそうだが、介護保険料などは合併になったときに現行より高くなるのではないかと心配だ。料金の安いものは良いが、高い部分で差が出てくるように見受けられる。</p>	<p><b>事務局</b> 国保については資産割ということで資産を持っている方に国保料を負担してもらう方法や、所得割ということで所得に対して一定の率で国保料を負担してもらう計算方法がいくつある。そういう資産割はやめて所得割と世帯や個人といったような平等割、均等割に力点をおく事とした。その中で所得割については資産割をなくしていくので、計算上所得の高い方の負担が多くなる。しかし限度額を設定しているので最高で53万円となり、その他については一定の率の負担ということになるのでご理解願いたい。 もう1点、固定資産税の関係だが、合併した時に固定資産税の率を変える予定はない。</p> <p><b>町長</b> 後段の部分の固定資産税が上がるのではないかということについては、今のところ全くない。合併をしないとなると、どこかで赤字分の財源手当てをしなければならないので、状況によって住民の負担が増えてくることになるが、そうなると固定資産税が真っ先に考えられる。</p> <p><b>町</b> 「わがまちの進む道は」というペーパーの中に概要版で説明した主な料金サービス関係で、今の町の料金体制と6つが1つになった時の料金体制が載っており、この内容を見て質問していると思うが、介護保険料については平成17年度まで現行の料金ということになり、改正しなければならないのが平成18年度以降である。合併したとすると17年度までは今の介護保険料、18年度からは新しい介護保険料となるが、6つが1つになった時の介護保険料は、その時に決まるので今の段階でいくらということは申し上げられない。</p> <p><b>町長</b> 介護保険については3年ごとに料金を見直すので、合併しなくても白糠町では3年ごとに見直す。今この段階で6つが1つになるとどのくらいかというと、白糠町は今より高くなる。どうしてかと言うとサービスの程度がどれだけあるかということで、サービスがなければ他の町のように安くなるし、料金が安いということは必要なサービスが受けられないということになる。この兼ね合いから一概に安ければ良いとは言えないし、高ければ良いというわけでもないところが難しいところである。正直言って今白糠町は管内でも一番バランスがとれている。それは白糠町の人が釧路市の施設を使わせてもらっている</p>
(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。	9

## 概要版 - 住民説明会（白糠町 - 2003年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
<p><b>質疑</b> 調整項目の中に林業に関することが記載されていないが、現在白糠町と音別町の森林組合が合併して一部事務組合となっている。6市町村が合併すると釧路市には森林組合がなく釧路町、鶴居村、阿寒町にはあるが、この関係は一切ここには出てないがどうなっているのか。また、町有林などの管理、方向性が記載されていない。</p>	<p>ということがある。白糠町の特別老人ホームや診療所だけですべてがまかかれているわけではない。鶴居村が高いのは何故かというと、農繁期で忙しくなるとお年寄り1人を家において置けないので、施設に預けてしまうということもあり、人口割合にして高齢者比率が非常に高いことと、支える年齢とのバランスがあり、どうしても保険料が高くなってしまい、ただ今全国一になっている。簡単に言うとサービスを受ける人が多いので、白糠町も高齢化が高くなると相互扶助の関係で今よりは高くなっていく。</p>
<p><b>質疑</b> 各産業団体から合併に向けての意見はあるが、林業関係は出ていない。</p>	<p><b>事務局</b> 住民サービス等の調整方針は1,246項目あり、すべてお示しするべきだが、時間の関係上、住民説明会で説明するため優先順位を付け137項目を選んだ。</p>
<p><b>質疑</b> 教育について今は釧路市内の公立高校を通うのに管内枠があり、今回合併で同一学区になることによりどうなるのか。やはり地元高校の定数を守るために、ある程度残らなければならないのか、それとも自由に釧路内の学校に通えるようになるのかお聞きしたい。</p>	<p><b>町</b> 協議会の一般委員の方10名については農協組合長、漁協組合長、商工会会長がいる。林業代表については我が町においては合併したが森林組合がある。しかし、選出に当たっては農林業からということで農協組合長に出ていただいており、議会についてもそれぞれの常任委員会の委員長、産業建設常任委員会、これは林業関係についても携わっており、合併協議会の8つの小委員会のうち農林業関係の小委員会には産業建設常任委員会の委員長、農協組合長が委員として出席し、農林業関係について協議いただいている。</p> <p><b>事務局</b> この協議の経過だが28ページの66の部分で「道立高等学校」の項目があり、現在白糠町と阿寒町と音別町が第2学区として分かれており、5%枠という取り扱いをしている。協議会では新市として一つの市になり、学区が一つになった場合、白糠高校、阿寒高校は地域の重要な教育施設だが、なくなってしまう懸念があるので、1つの市になっても阿寒高校、白糠高校については今までどおりの定員と学校の存続について、また地域振興についても非常に重要な問題なので、北海道教育委員会に要請していくこととなっている。町村枠については1学区になるので5%枠はなくなる。</p> <p><b>町長</b> 今の説明が協議会の協議結果である。ここにあるように阿寒高校、白糠高校は存続するよう要望していくとなっている。もし合併しなければ阿寒高校、白糠高校がどうなるか認識しなければならない。今、</p>

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

# 概要版 - 住民説明会 (白糠町 - 2003年秋)

主な質問・意見	主な説明内容
<p><b>質疑</b></p> <p>66 番に道立高校の阿寒高校と白糠高校について表記されているが、今と同じような考え方で、例えば釧路西高校がなくなるような問題があるが、実際に白糠町が新市になった時に、白糠高校も含めて全市で高校はいくつあれば良いかといったような話になったのか。私は今の高校はずっと残って欲しいという思いがあっての質問だが、新市になった時に、釧路市の人たちも白糠高校に通学する意識がどこまで出てくるか、同じ市民として共有できる部分、釧路市民の人たちがこんな日本一大きくなる市を地域全体で支えようとするものが見えてこない。</p>	<p>阿寒高校は人が減って大変な状況であり、白糠高校はまだ阿寒高校よりは多いが、そういう状況の中で合併する時に存続するよう強く要望すると言っても、子供達は5%枠がないから好きな学校に行ける。地元に通う生徒が少なくなれば、いくら強く要望しても生徒が居なくなってしまうから、それは合併する時に認識しなければならない。白糠町として考えなければならないことは、新市になった時に全部同じような高等学校ではなく、例えば白糠地域にある高等学校は国際交流を基調とする高等学校にするとか、そういう特徴のあることをしていくなければならないと私は思う。合併しなくても白糠高校をこの地域として何としても存続させたいので、そういう特徴を色濃く出していくことが今必要だと思っているし、特色ある高等学校にしていかなければ、将来に向けて存続は厳しいと考えている。</p> <p><b>事務局</b></p> <p>協議会の小委員会の中でそれぞれ地域を代表した委員の皆さん方から道立高校の存続については地域の大切な問題だから強く打ち出して欲しい、強く要望するといった意見があり、そういった意見を踏まえてこういったような表現になったところ。</p> <p><b>町長</b></p> <p>今のご意見と同じことをこの合併論議の前から実は思っている。それは釧路市民の意識が変わらなければ、合併はないと私は思っている。釧路管内の経済活動があってその中核として釧路市がある。その足元のことをやはりもう1回きちんとやらなければならない。釧路市に釧路管内があったから釧路市があるのだという気がないから今、釧路管内は困っている。我々とすれば釧路市が廃れても困る。だから今、皆で協力し合ってやるにはどうしたら良いか、大切なのはそこである。そのような中でこの高等学校の件は、今の合併論議がなくても危機感はある。子供を教育させるなら白糠町へ行って住もうというようなそういう一貫性のある教育をすることが、私は求められていると思う。</p>
<p><b>行政組織・機構に関すること</b></p> <p><b>質疑</b></p> <p>概要版の「日本一広い」ということは、住民サービスを切り捨てた調整方針である。問題は職員数、白糠町の職員が減少した場合、色々な問題が生じてくるということである。</p>	<p><b>事務局</b></p> <p>職員が減ることにより住民サービスの低下に直結してくるとのご不安かと思う。説明した財政計画の中では、職員が一定程度減っていくのではないかという前提にしている。これは合併することにより、総務部門などといった部門は統合し、また直接住民サービスを提供する部分はサービスを維持できるよう努めていきたい。(仮称)総合行政センターは住民サービス部門を残せるような組織、機構にしていきたいと考えている。</p>

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

# 概要版 - 住民説明会（白糠町 - 2003年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
<b>質疑</b> 6市町村が合併すると町長はどうなるのか。	<b>事務局</b> 議員については2年間の特例制度があるが、町長、助役、それから教育長などの特別職の皆さんにはそういった特例制度はない。そのため合併すると、今ある町を廃止して新しい町をつくるということなので、辞職することとなる。
<b>質疑</b> 現在の役場がそのまま残り行政サービスはそのまま残る話だったが、職員の削減を行う中で、単純に今の役場の規模がそのままここに残すのかどうかお聞きしたい。	<b>事務局</b> 役場の機能、人数の関係は、役場の機能として、地域の住民の皆さんの安全を守る、安心を確保するためには一定の人数がいるわけないと思う。そういった中で、今の役場職員がそのままいるのかというと、なかなかそうはならないと思うが、例えば総務部門の関係や6つの役場にあって集約できる部署は当然集約されていくと思う。住民の皆さんと接するような部署については基本的に残していく。こういった広いまちでは、災害の時あるいは除雪など、ある程度の人員は必要だろうと思っている。
<u><b>議会に関すること</b></u> <b>質疑</b> 各市町村の現在の議員数はどのようにになっているのか。	<b>事務局</b> 議員定数では、釧路市が34名、釧路町が18名、阿寒町が14名、鶴居村が12名、白糠町が18名、音別町が12人であり合計108人になる。
<b>質疑</b> 議員定数は118名が38名に減少する。住民の代表というのは当然議員だと思うが、法定定数としては少ないのではないか。	<b>事務局</b> 人口23万人のところは法律で38人が上限となっている。住民の声が届きにくいという事については、新しい市になった場合、全市1区で選挙するのではなく、協議会の中では選挙区を作ることも検討している。選挙区については2つの考え方があり、旧市町村別とする案と、新市を5つくらいに分割して、例えば、白糠町、音別町、釧路市の大楽毛方面を1つの選挙区とする案について現在協議中である。
<b>質疑</b> 合併すると白糠町、音別町は釧路市から離れるにしたがってサービスが悪くなり、要望が聞き入られなくなる。議会議員もいなくなったり、市議会議員と言っても1人か2人ということになる。1番の問題はお金の問題で、人件費を減らすということは人員が減るということが当然考えられる。白糠町の職員も大幅に減ると思う。議員についても一般選挙では白糠町から1人や2人しか出られないで、3名、4名が出られるような枠を作ってもらうのが良いと思う	<b>町長</b> この合併協議会を早く立ち上げて論議しようというのは、ご指摘の理由からである。最後になってしまえば吸收合併になって何も論議ができずに、または国の言ったとおりになってしまう。色々な課題があるから早いうちに論議して、他にないことは要望していこうということ。今話があったように他の町村とは違う。私も議会も白糠町の議員が残るとか残らないといった問題ではない。大事なのは民意をいかに反映させるかである。2年間の特例措置はあるが、その後は法定定数の38人になる。全圏一区で選挙をやったら私だったら地域の端まで行かない。それから、ある町民の方から言われたが、全圏一区で選挙をやったら、もし釧路市の漁組から誰かが出たら白糠町の漁組も押し、そうなるとますます地域の

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

## 概要版 - 住民説明会（白糠町 - 2003年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
で、白糠町のためにも協議の中でそういうことになれるようお願いしたい。	意見が反映されないので、早くから論議するべきだと。先程選挙区で調整がついてないと言ったが、白糠町が主張しているのは、民意が大事であり、1つになるのであれば早く仲良くならなければならないということ。いつまでも旧白糠町などといって権利を主張していると、いつまでも1つにならないで引きずってしまう。釧路市を5つに分割しようといっているのはうちの議会である。星が浦から白糠町、音別町は西区といったような分割である。鶴居村、阿寒町、鶴野、昭和は北区、釧路町の大部分と美原を東区、そして昆布森、白樺等を南区、そして残ったところを中央区とし、そして人口配分、1票の格差の問題があるから議員の数を決めるべきだと主張している。西区から5人か6人の議員数となると、その人はその地区を全部歩くこととなる。うちの議会は全会一致でこうした意見を言っている。私もそう思っている。
<b>質疑</b> 議会議員が特例法により在任特例で2年間延長される。これはやむを得ない。ところが議員報酬のことについて端的に申し上げるが、釧路市に合わせることとしている。釧路市は49万円、白糠町は19万円であり、そうすると釧路市に合わせることによって約2.6倍～2.7倍の議員報酬をもらうことになる。金額がどうこうではなく住民感情として許せないと何件か聞いていている。私はこの重大な時に議員報酬については今のままでし、合併問題について真剣に取り組むと言うような声があってこそ住民は安堵の感を持つのではないかと思う。合わせて108名の議員が議会を開くとき、この2年間はどこでどのような形態で行われる見通しか。	<b>事務局</b> 行財政小委員会の議論の中では、1つは昭和の大合併の時の反省として、合併した時、中心部が栄えて周辺部がさびれたという反省があった。今回平成の合併を進めるに当たっては、過去の反省は2度と踏みたくない、そうしたことから、合併する時には周辺部に対する配慮についてしっかり考えていこうと言った方針が示されているところである。そうした中で6つの市町村が合併するにあたっては、新しい町を作るときにはしっかり見届けてもらいたいという議員に託す思いは大きいと言うことが1点であった。報酬額は1つの市になって報酬が2通り、3通りあっても良いのではないかといった疑問があったが、1つの自治体の中でそういう決め方はなじまないのではないかと思っている。特に、協議会の中では、報酬が高くなることで、引け目を感じるのではなく今までよりも責任が重くなるため、しっかりとまちづくりに関わって欲しいといった意見が小委員会で出されたところである。 議会会場は6つの自治体の議場で1番大きいのは釧路市だが、54～55人くらいが限度である。釧路市観光国際交流センターといった市の施設などを使っていくことになるのではないかと思うが、協議会の中では本会議場をどこにするか協議はしていない。
<b>質疑</b> 2年間は町議が今まで、お金は倍以上となる、その辺が変わだと思う。そういうことに関して議員はどう思っているのか。	<b>事務局</b> 議員の取扱いについては、合併特例法の中で特例として2つの方法をとることができる。1つは2年以内であれば、議会議員活動ができる在任特例。それともう1つが、1回目の選挙については定数の2倍以内、すなわち76人以内で選挙することができる定数特例がある。基本的に釧路地域の合併は、釧路市の人口が8割ぐらいを占める人口構成である。そういう中で、地域振興の問題について考えた時、合併するとすぐに作る総合計画の中で、地域の声をどのようにして取り入れていくのかが重要で、そういうことからすると、今の議会の皆様方が全部残る方向が良いのではないかということになったところである。

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

# 概要版 - 住民説明会（白糠町 - 2003年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
<p><u>合併の判断のこと</u></p> <p><b>質疑</b> どうして釧路市と合併なのか。合併すると交付税が保障されるのであれば町村だけの合併もありえるのではないか。</p>	<p>もう1つは費用の関係である。議会の開催頻度、会議の日程的な問題などを考慮すると、新しい町を作ろうとする時には、地域の代表として計画作りに参加するなど色々な形で重たい責任を背負うことになる。1つの新しい市になった時に、高い報酬をもらう議員、安い報酬をもらう議員がいては不自然さもあり、一本化することとした。1本に合わせるに当たっては、今の釧路市の議員報酬に合わせていくこととし、これは住民の皆様方の声を、重たい責任を持って代弁していただきたいと、協議会では検討したところである。</p>
<p><b>質疑</b> これから少子化社会に入るに当たって、経済情勢も含めて国の借金もあり負担の部分が考えられるが、どこかの自治体では児童・生徒までアンケートを行うという新聞記事を見たが、住民に是非の判断を求めるという部分ではどうするのか。</p>	<p><b>町長</b> 現在の協議は合併前提ではなく、12月までの合併の判断材料として6つが1つになった場合どんな「新しいまち」になるか協議している。（協議会設立の経緯、選挙区やスケールメリットについて説明）</p> <p><b>町長</b> (協議会設立の経緯について説明) 隣接する一番の都市である釧路市を抜きにして協議はできない。数字的なスケールメリットを求める大い方が有利である。</p> <p><b>町長</b> 住民説明会が終了後、各団体との説明会もやりたいと思っている。これが一通り終わった後、12月まで時間があるなしの議論は別として、この状況を踏まえて、我々も議会も付託を受けて出てきているわけだから皆さんと意見を交わし論議をすることが当たり前だと思っているので、論議をして次にどうするかということである。12箇所で説明会を行い、例えば200人しか集まらなかつたとなると、それで十分なのかと言われると十分ではないと思う。他の市町村で住民投票、アンケートを行っているが、私は終始一貫のことについては言及していない。なぜかというとそれを先にやるとこのような説明会はしなくても良いということになる。判断材料を提示しないうちにやっても無意味だと思う。過程を踏んだ後に速やかに我々は判断して、次のステップを考えなければならないと思っている。</p>
<p><b>質疑</b> 合併の是非の判断として町民が住民投票は必要だといったらそれに従うということか。</p>	<p><b>町長</b> 先程申し上げたように、それらの動向・雰囲気を我々が把握しなければならない。そういう意味では住民投票というのも1つの手段、アンケートというのも1つの手段、そういうものをとらまえて例えば首長がまた議会がどういう判断をするのかということが重要だと思う。この種の問題というのは非常に難しい課題なので、やはり過程を踏んでいった上で私は判断すべきだと思っている。今の時点でこれを</p>

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

## 概要版 - 住民説明会（白糠町 - 2003年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
<b>質疑</b> 町民の皆さんには結構関心をもっていると思う。中にはなるようにならぬといふあきらめムードの人もいる。住民投票でも行えば別だが、いずれ町長の考え方、議会の考え方で決まることになるだろうと思う。白糠町の議員は選挙のとき合併問題は大変なことだから賛成・反対の意思表示をした人は1人もいなかった。	やる、あれをやるということを申し上げることはしない。  <b>町長</b> 議会の話だが、白糠町の議員も他の自治体の議員も統一選挙があった。その時に合併の問題を問うには判断材料がなかった。他の町は分からない。うちの町では合併に関する特別委員会を作っている。我々も含めて一番理想なのは理事者も議員も付託を受けた代表者だから、合併しないならしない理由が必要である。ただ反対といっても住民の方に理解してもらえないから、するにしてもしないにしてもきちっとした根拠が必要。このため北海道で一番先に法定協議会を立ち上げ、合併を判断する材料をまず住民の皆様に提供することとして、住民説明会を12会場で行っている。判断材料を提供してそれから付託を受けた責任を持ってどうあるべきか我々も議会も住民も大方の方が納得できる方向を模索していくという考え方であったので、そういう意味では春先の選挙では論議が出来なかつたということ。それから2点目として、今まで景気のよい時代は、全国どこでもそうであったが住民の皆さんにこういうお願いをする話があまりなかつたのが行政としての反省と思っている。
<b>質疑</b> 住民アンケートの話があったが、こういう資料が出た後でも白糠町は住民の意思を問うようなことは考えていないのかお聞きしたい。	<b>町長</b> 民意の確認だが、一通り説明会を終わらせた後にアンケートという手段もやはり検討していかなければならないと思っている。このことについては、我々の考え方も構築して議会の皆さんと相談しながら、また住民の皆さんの動向を確認しながら速やかにそういう手を打ついかなければと思っている。
<b>質疑</b> 合併を判断する時期、方法はどうするのか。	<b>町長</b> 6市町村での合併協議会を立ち上げるにあたって、実はこういうことを6自治体で確認をしている。ひとつはこの合併協議会は、合併ありきで設置するものではなく、住民が合併を判断する材料を提供する場であり、将来のまちづくりのあり方を検討する場として設置するものである。従って、合併協議会設置イコール合併決定ではなく、合併協議会はあくまでも合併についての中立的な検討を行い、その是非を判断する場であるという位置付けが必要である。2番目に中立的にスタートした協議会は、前半は合併の是非を判断する選択肢を提示することとし、住民に対し合併の判断材料などの情報提供を行い、ある段階で参加市町村が合併の是非を見極める時期を設定し、そこで合併が望ましくないと判断した市町村はこの時点で脱退する事とし、合併が望ましいと結論に至った市町村は調整を本格化させて前に進む。だから当初9月としていた中間地点のある町村の事情があって今は12月にのびているが、12月はこの折り返しの時点で進むか進まないかの意思表示の時期である。ということは、ぎりぎりまで抜けられると、その後の調整が出来なくなる。今我々は材料を提供するためにこの説明会をしている。住民の皆さんの意思の確認はどうするかということをやはり検討しなければならないと思う。過程とし

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

## 概要版 - 住民説明会（白糠町 - 2003年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
<p><b>質疑</b> 町の長期財政計画の説明を聞いたが、民間であれば収入に応じた経営を行っていくと思う。白糠町が単独でやっていけるのか、いけないのか何時の時点で説明するのか。</p>	<p>て、私は十分時間があると思っている。加えてまたそういう中で首長として、あるいはまた議會議員の皆さんも代表だから、こうあるべきだという考え方を示す時がくると思う。そういう事も含めて、折り返し時点に向かっていきたいと考えているのでご理解いただきたい。</p> <p><b>町長</b> 行政は歳入を増やし歳出を削減していけば赤字は解消されるが、職員を不補充にしさに給料を20%カットすれば、町内の各商店もダメージを受ける。さらに固定資産税を上げると年金生活者が大変苦しくなる。その様な状況の中で合併も含めて町の将来をどうするか考えていただきたい。この説明会での意見を12月に向けて活かしていきたい。</p>
<p><b>質疑</b> 白糠町議会でも合併について話しているのか。議員がどう思っているのか、役場の方々は大いに勉強していると思うが、その方がどう思っているか全然分からない。</p>	<p><b>町長</b> 議員の方々が選挙の時に合併の話は一切出なかった。これは言えなかつたのである。先ほど申し上げたように、議員の方々は全員で構成している特別委員会で議論した上で説明するから、住民の皆さんに合併の是非をお話しするには材料がなかつたわけである。とにかく早く判断材料を住民の皆様に提供するために協議会を立ち上げた。だからこれが出来るまで判断の材料がない。概要版が出て説明会をしたから、今後において私は少なくとも選ばれた立場で情報も入るし、判断もできる立場にいる訳で、スタッフもいる訳だから、時期が来たら私はこうあるべきだと言おうと思っている。同時に議員の皆さんも同じである。やはり的確に判断して、住民の皆さんとの意思を確認する。その上で、お互いがどうあるべきか主張しながら判断をしていくことが、私は大事だと思う。こういう過程の中で、議会も特別委員会において徹底して論議している。</p>
<p><b>質疑</b> 一通りの説明の中で、これはもう合併を前提とした資料だと私は感じ取った。日本で一番広いということを大成功と思っている方も多いかもしれないが、正直申し上げて、白糠町、音別町、阿寒町、鶴居村との合併も視野に入れながら検討の積み重ねも必要ではないかと思う。今まで議論をした経過があるのかどうかお伺いしたい。</p>	<p><b>町長</b> 今6つの市町村で合併協議会を法定で立ち上げて協議をしている。合併ありきではないが、首長として単独では厳しいという認識をしている。ただし、この6つで合併することは一言も言っていない。なぜなら、6つの自治体で1つでも抜けると合併協議会はなくなる訳だから、そのために今、説明会をやっている訳で12月に向けて各々の市町村がどう判断するかである。</p> <p>また合併論議の時には、色々な枠組みのパターンをシュミレーションしたことがある。これは一度示していると思うが、これは道の方で市町村の財政状況を公表し、それに基づいた組み合わせであり、町としても公表している経過がある。</p>

# 概要版 - 住民説明会 (白糠町 - 2003年秋)

主な質問・意見	主な説明内容
<b>合併協議会のこと</b> <b>質疑</b> 概要版発行までに6市町村でどの様なメンバーで話し合われたのかなど協議会の仕組みについて伺いたい。	<b>事務局</b> 6市町村代表の委員や行政担当者において専門部会 幹事会 小委員会 協議会の流れで協議を行い決定している。(協議会委員構成を説明。)
<b>質疑</b> 市町村合併は最初、釧路市が釧路町と合併したいというのが始まりであった。ところが途中で釧路町の町長が広域合併でなければいけないという話で現在の合併協議になっているが、聞くところによると釧路町の態度がはっきりしなくて、他の市町村が賛成しても釧路町は抜けるような感じがしている。例えば1つ2つが合併に参加しなくとも、残ったところで協議を進めていくのではないかと思っているが、支障があるのではないか。	<b>町長</b> 今、経過についてお話をあったが、釧路市と釧路町は今回の合併議論の以前からの歴史的背景があったようで、生活圏が同じということがあつて論議があった。この広域に転じたのは実は私の投げかけによるもの。國の方針もあって道が5つの合併パターンを示した中で白糠町が入っているパターンは釧路市、釧路町、白糠町、音別町の1つのパターンしかなかったが、きっかけとして道が示したのだから話し合いをさせて下さいと申し上げた。その時に阿寒町、鶴居村にも声をかけて釧路市を取り巻く町村で協議をしないかと提案した。何故かというとこの中にも単独で、2つの町で、3つ、4つ、6つと色々な意見があると思うが、われわれが議会と相談したのは、釧路市という大都市を抜きにして論議しても、今回は金額的にもスケールメリットが大きく働くので、そういう中から判断材料を求めるという考え方で広域協議がなされた。 それから後段の部分で1つが抜けたらどうするか、2つ抜けすることもあるかもしれない。この合併協議会は途中で抜けることも可能としており、その目途は12月ということになっている。1つ抜けばこの合併協議会はなくなる。それは各々の議会が6つということで法定協議会の立ち上げを議決したからである。どこかが抜けたら新たな枠組みの論議になる。
<b>質疑</b> 協議会には他の市町村の人も来ているのか。	<b>事務局</b> 協議会には各市町村から19人の委員が集まっている。共通委員もいるが、全体で116人である。白糠町からも委員として協議会に参加され協議している。町長からお話をあったように6つの市町村が単純に合併ありきということで協議しているのではなく、6つが合併してひとつのまちをつくった時、どういうまちづくりができるのだろうかと言ふことを前提として相談している。
<b>質疑</b> 白糠町から出ている委員の方にこれまでの概要版に至るまでの間に白糠町が抱えている問題を協議会の中で、どの程度論議されてきたのか具体的に聞かせていただきたい。	<b>事務局</b> 協議会の委員は116人となっている。全体の中で話し合いを進めることは難しい状況である。そのために8つの小委員会を設けその中で検討している。1つには計画部門を考える新市建設構想小委員会、それから住民生活や負担を話し合う保健福祉小委員会などそれぞれ6つの小委員会がある。事務局からある程度のご提案をするが、概要版に書かれている内容は、委員の協議によりまちづくりの方向性としてとりまとめられたものである。

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

# 概要版 - 住民説明会（白糠町 - 2003年秋）

主な質問・意見	主な説明内容
<p><b>国や道の動きに関すること</b></p> <p><b>質疑</b> 全国町村会等でも国に対し、色々と要望していると思うし、我が町だけの問題ではなく全国の自治体の問題だと思うがどうか。</p>	<p><b>町長</b> 町村合併については先般、釧路支庁管内町村会でも話し合いをした。要は国が法律で決めてしまっては従うしかないが、その前段として心配なのは国が言っているように交付税の全体枠はもう増えないとということ。合併した所には100%手当てし、しなかった所には残った部分から分配すると言っている。そこで三位一体を早く示して欲しいということで、最初は8月に示すと言っていたがまだはっきりしていない。この前北海道町村会が言ったのはこの三位一体がはっきりするまで合併の話は先延ばしにし、そういうことを強く要望すべきだということ。我々も心配な部分も含め転ばぬ先の杖として合併論議をしているが、我々としては町村会を通じて色々とやってきている。国の責任において北海道特例の検討も含め町村会として要望していきたいと思う。</p>
<p><b>意見</b> 「三位一体改革」は地方に任せるべき。</p>	
<p><b>その他</b></p> <p><b>質疑</b> ここへ来て説明を受けたから理解できたが、皆に納得してもらうためには町民に分かるような説明をしてほしい。</p> <p><b>質疑</b> 12月までに合併に参加するかしないか決めるとなれば、住民としても色々な意見を言って、そして納得して合併しなければならないし、頑張れば単独でやれるという見通しがあれば一肌脱がなければならぬ気持ちである。白糠町は90年から100年の歴史がある。合併して6市町村になって他の地域の人と直ぐには打ち解けられない。数字で合併やむを得ないというのと別な大きな問題である。</p>	<p><b>町長</b> これからでも遅くないと思う。今のようなご意見があるので、これらの意見は広報で全部取りまとめて、住民の皆さんに出していきたいと思っている。</p> <p><b>町長</b> 問題は住民の意識というものが、合併しようがしまいが自分たちが今までどおりやっていくことだと思う。ここで問題なのは地域コミュニティをスムーズに生かせることである。例えば色々な災害があり、いざという時に我々行政として何が一番大事かというと住民の生命と財産を守ることである。今回の協議会も早く立ち上げて論議しているが、そういうことを詰めないと何もならない。コミュニティとしての意見を最大限、民意に反映するにはただ単に議員が38名いれば良いということではなく、その中でいかに地域のことを思っている人がいるかである。また地域審議会を設けるかどうかも検討しなければならない。今質問があったように100%変わらないことにはならないが、みんなで努力してそういうものが失われないようにするにはどうするとよいのかみんなで知恵を出して行かなければならないと思う。</p>

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。